



広報

たしろ

No. 469

平成4年

9月号

平成4年9月3日発行

田代町役場企画管財課編集

肝属郡田代町麓827番地・1



夏の交通事故防止運動

8月10日、花瀬公園や奥花瀬ニジマス釣場への観光客を対象にねむけざまし作戦として、運転手へ、ヤクルトを配布しました。

現在、田代町は交通死亡事故「0」の日3,000日へ向けて、更新中です。

ブラジル移住の上原さん 三十年ぶり故郷へ里帰り



上原集落出身のブラジルサンパウロ州アチバイア市に住む上原真地（うえはらまづち）さん（五十四歳）が、三十年ぶり（七月二十二日、単身帰国）に故郷の土を踏み両親らと再会、役場に町長を表敬訪問、社会福祉に役立ててくださると多額のご厚意を町社会福祉協議会へくさいました。上原さんは昭和三十七年東京農業大学を卒業後ひとりでブラジルに移住、イチ

ゴ等果樹園を経営してきたが現在は現地で結婚した妻の愛子さん（四十八歳）と娘三人の家庭で商業を営んでいる。その間筆舌につくしがたい苦労の連続であり何度も帰国したいと考えたが頑張りとおしたと語られました。又故郷の変容に驚いたが、緑の山と清い川の流れは残っていたと感慨深げでした。田代中学校の同級生、上原集落の皆さん、友人、知人の皆様と心ゆくまで歓談、この程帰国されました。御健勝をお祈りいたします。

夏の交通事故防止運動

—ねむけざまし—

作戦を展開—

『暑い夏心にクーラーさわやか運動』をスローガンとして、八月三十一日までの一カ月間、夏の交通事故防止運動が実施されました。田代町では、運動の一環としてねむけざまし作戦を展開しました。これは、夏の解放感や暑さからくる疲労、

レジャー、交通の増加等により居眠り運転による交通事故の防止を願って、田代町交通安全協会、役場女子職員により運転手に「交通安全に御協力下さい。」とヤクルトを配布しました。



消防操法大会

中央分団三位入賞

（小型動力ポンプの部）

鹿兒島県消防協会肝属支部操法大会が7月23日、鹿屋市の中央公園サッカー場で開催され、小型動力ポンプの部で中央分団が三位入賞をはたしました。



消防操法大会は、小型動力ポンプの部と自動車ポンプの部に分かれ二年に一回、消防技術の向上を図るため行われていますが、今年も各市町の代表11チームが熱戦をくりひろげました。田代町からは、今年3月1日に開催された田代町消防操法大会で優勝した小型動力ポンプの部の中央分団、自動車ポンプの部の大原分団が出場し、代表決定以後仕事の都合をつけ連日猛練習を続けてきました。中央分団は総合並びに操作の所要時間では最高点をとったものの操作要領の減

点がひびきおしくも三位となり、大原分団も操作の所要時間では2位につけたものの操作要領で力を発揮できず上位入賞をはたすことができませんでした。二年後の大会ではさらに上位入賞できますことを期待いたします。

大原地区夏まつり

盛大に開催



大原地区むらづくり推進委員会（会長伊藤文吉）主催、恒例の夏祭りがこの程開催され、輪投げ、カラオケ大会、老人婦人クラブの

踊り、ニジマスのつかみ取り、お楽しみ抽選会等多様な催しが行われ、夜空をこがす花火のもと、町内約六百名の見学者が暑さを忘れて夏の夜を満喫しました。

お知らせ

緑のオーナー募集

大根占営林署では、一口25万円緑のオーナーを募集中です。

国有林の分収育林（緑のオーナー制度）は、参加される皆さんと国有林の間で、育成途上のスギ・ヒノキ等の人工林（おおよそ植えてから20～30年程度）を共同で育てる契約を結び、契約で定めた時期に立木を販売して、その収益を分配する制度です。

今回の募集地は、内之牧国有林（田代町内）ヒノキ32年生、及びヒノキ33年生の林分2箇所です。詳しく知りたい方、お問い合わせは、大根占営林署総

務課までお願いいたします。
電話は09942121
0521です。

鹿屋市立鹿屋看護専門学校学生募集

- 募集人員 40名（男子1割程度）
- 修業年限 3年（昼間定時制）
- 応募資格 (1)准看護婦（士）免許を得た後、3年以上看護業務に従事している者 (2)高等学校を卒業している准看護婦（士）
- 願書受付 (1)期日 平成5年1月11日（月）～平成5年1月30日（土）
- ※詳しいことのお問い合わせ先
鹿屋市西原3丁目7番40号（〒893）
鹿屋市立鹿屋看護専門学校

TEL

099446360

099446361

FAX

099446360

9月は「精神薄弱福祉月間」

9月は『第29回精神薄弱福祉月間』です。

全国的には「人も街ももっとやさしくくらしをわけあう街づくりのために」を、本県では「ふれあい、つきあい」ひろげよう交流の輪を！をスローガンに、各地において様々な活動が展開されています。

今年「国連・障害者の10年」の最終年です。障害をもつ人ともたない人が「共に生きる」ことのできる豊かな福祉社会を目指して、私たち一人一人が精神薄弱者の方々に対する理解を深め、みんなで協力して交流の輪を広げましょう。

期間中、9月9日の「この日一日をこの人たちとともに」（福祉デー）や県下一円での街頭広報、また、在宅の精神薄弱者の方々の「作品展覧会」（絵画、作文、習字、手芸品等、9月下旬山形屋デパート（鹿兒島市）等が実施されます。

お気軽にご参加ください。

介護休業制度の普及について

介護休業制度は「介護を必要とする父母・配偶者等を抱える労働者の申出により、介護のため一定期間仕事を休むことを認める制度」です。

高齢化、核家族化の進展に伴い、老親等家族介護の負担は労働者、とりわけ、介護に中心的に携わっている女子労働者にとって、仕事を続けていく上で大きな問題になっており、介護休業制度に対するニーズが高くなっています。

介護休業制度は、企業にとっては、
①熟練・中堅労働者の確保や労働者の定着
②企業のイメージアップ
などに役立ち、
労働者にとっては、
①退職しないで仕事を続けられ、キャリアをい
②父母・配偶者等家族を自分の手で介護できる、

サービスマーク

登録制度について

本年4月1日からサービスマーク登録制度の導入等を目的とした「商標法」の一部を改正する法律が施行されました。

サービスマーク登録制度は、サービス事業者の信用の維持等を図るため、サービス事業者のサービスマークを商標として登録し保護する制度です。

この制度には、すべて同日出願扱いとなる先願主義の例外や優先的に登録となる特例出願等の経過措置が、本年9月30日まで講じられています。

出願予定の方で、まだ出願されていない方は、準備をお急ぎください。
▽問合せ先 県庁工業振興

課(☎0992②8111
内線2889)
(注) サービスマークとは、
自分のサービスと他人のサ
ービスを区別するために使
用するマークで、金融業、
運送業、飲食業、建設業、
旅館業等で使用しているマ
ーク(文字、図形、記号等)
のことです。

「救急医療推進県民大会」開催のご案内

毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む一週間に救急医療週間と定め、救急医療に対する理解と知識を深めていただくため、普及啓発活動が全国的に実施されます。

県では、県医師会との共催により「救急医療推進県民大会」を開催し、救急医療功労者の表彰や心肺蘇生法の実演及び小児科医師による講演などを実施します。多数のご参加をお待ちしています。

▽開催日時
9月9日(水)
午後1時～午後4時

▽会場

山形屋文化ホール
(2号館6階)

▽講演内容

「お母さん!! 子どもの命を守るのは貴女ですよ」
鹿児島市立病院
副院長 武 弘道氏

▽問合せ先

県庁医務課(☎0992
②8111内線2516・
2517)

高齢者交通安全

運動の実施

▽運動の期間

九月十一日(金)から九月二十日(日)までの十日間

▽運動の重点

- 一 高齢者の交通安全に関する県民の意識の醸成
- 二 高齢者の歩行中(特に横断中)及び自転車乗用中の交通事故防止
- 三 高齢運転者の交通事故防止

※期間中、県民の皆さんは次のことを実行しましょう。

- 一 高齢者の皆さん
(一)横断は左右を良く見て、

まっすぐ、なるべく急いで渡りましょう。
(二)夜、外に出る時は明るい服装にして反射材を身につけましょう。
(三)運転はゆとりを持ち、交差点での「とまって確認」を実行しましょう。

二 家族の皆さん

(一)出かける際には「気をつけて」の一声かけましょう。

(二)体調がすぐれない時は、自転車、バイク、車の運転を控えさせましょう。

三 運転者の皆さん

- (一)高齢者を見掛けたら、高齢者の動きに注意し、いつでも止まれるような安全な速度で運転をしましょう。
- (二)自転車やバイクに乗った高齢者の横を通行するときは速度を落とし、間隔を十分とりましょう。

国民年金「ふれあい講座」受講生募集

国民年金の被保険者・受

給権者の福祉の増進を目的とした「ふれあい講座」が、今年も開催されます。

▽実施時期

一回目 九月二十九日(三十日)
二回目 九月三十日(十月一日)

▽募集人数

各六〇人(計一二〇人)

▽場所 国民年金保養センター「たるみず」

▽内容 教養講座、趣味の講座、健康講座、年金講座、軽スポーツ、年金相談、健康相談など

▽会費 一人 六〇〇円

▽申込み期限 八月三十一日(月)

▽問合せ先
県庁国民年金課(☎0992②8111内線2374)

家出少年の発見

保護活動の強化

一 少年の家出の危険性
県警では、昨年中六百五十五名の少年の家出人届けを受理しています。
この家出少年の中で、六

六名の少年が、暴力団からの性被害にあったり、生活に困り窃盗などの犯罪を犯しています。

このように、少年の家出は性被害にあったり、非行を犯すなど、少年の一生を左右することになりとても危険です。

二 家出少年発見保護活動強化月間の実施

例年、家出少年が最も多いのは夏休み明けの九月です。

九月は、夏休み中の遊び癖が抜けきれない子供達が家出するケースが多いため、九月中を「家出少年発見保護活動強化月間」として、家出少年の早期発見保護活動に取り組んでいますので、不幸にして子供さんが家出した場合は、一刻も早く警察に届けて下さい。

- 三 家出を防ぐための心掛け
(一)子供さんが、自分の悩みなど話せるよう心掛け、親子の対話を大切にしましょう。
(二)子供さんの日常生活をよく見守り、家出や非行の兆しに注意しまし

よう。

(三)非行や家出の原因は、無断外出泊や夜遊びが主な原因です。
これを防止するには、門限を決めるなど規則正しい生活を送らせましょう。

自動車の名義変更・抹消登録は確実に

抹消登録は確実に

自動車税は、毎年4月1日現在で陸運支局に登録されている自動車の所有者、又は使用者に課税されます。自動車税を他人に譲渡したり販売店に下取りに出しても、移転登録が済んでいない場合は、いつまでも旧所有者に税金がかかってくるようになります。

まだ移転・抹消の登録が済んでいない方は、早めに必要な手続きをとってください。

▽問合せ先

- ・自動車の登録については
鹿児島陸運支局又は大島自動車検査登録事務所
- ・自動車税については
鹿児島県自動車税管理事

務所各総務事務所又は各支庁財務課

ねたきり防止

シンポジウム

「ねたきりにならない、させないためには」をテーマに、ねたきり防止シンポジウムを開催します。

▽日時

平成4年9月7日(月)
午前10時30分から
午後3時30分まで

▽場所

鹿児島市民文化ホール
第2

▽内容 基調講演

「ねたきりは予防できる」
東京大学医学部老年病学教授 折茂 肇氏

シンポジウム

「ねたきり防止を保健・医療・福祉の立場から考える」
その他介護機器展示や映画上映を行います。

▽主催 厚生省・鹿児島県

学校週5日制スタート

九月から月一回

全国一斉司法書士・調査士法律無料相談所開設

今年九月から、毎月の第二土曜日を休業日とする学校週五日制が、公立の幼稚園、小・中・高等学校・特殊教育諸学校で一斉に始まります。
これは、子供たちの生活にゆとりをもたせ、より豊かな体験ができるようにしようとするものです。
家庭や地域社会における遊びや自然体験、社会体験、生活体験などを通して、自ら考え、主体的に判断し行動できる資質や能力を育てることが大きなねらいになります。

20歳以上の学生の皆さんへ

加入手続きをお忘れなく

20歳以上の学生のみなさん、国民年金の加入手続きはお済みですか。学生のみなさんも20歳になったら、全員国民年金に加入しなくてはなりません。まだ加入されていない方は手続きをお急ぎください。

年金は老後のためだけではなく、病気やケガなどで障害者となった場合に保障するためでもあります。加入の手続きが遅れますと保障が受けられなくな

る場合もあります。

○手続きは?

学生証と印鑑をもって住民票のある市町村役場の国民年金係で行ってください。

住民票が親元にある場合などは、親が代わって手続きすることもできます。

○保険料は?
保険料は毎月9700円です。市町村役場から送られてくる納付書で納めて下さい。

納め忘れをなくするには、口座振替などをご利用ください。

○納められないときは?
本人やその家族が保険料を納めるのが困難な場合は、保険料の免除制度があります。なお、免除を受けた場合は、老齢基礎年金を受け取る額が少なくなりますので余給がでたら10年以内に保険料を納めてください。

九州著作権

セミナー開催

文化庁と県教育委員会では、著作権思想の普及向上を図るため、著作権セミナーを開催します。近年、著

1 エイズの相談・検査は保健所へ

- (1) エイズの相談・検査は、県内の各保健所で実施しています。
- (2) 相談・検査とも、個人のプライバシーは完全に守られています。(匿名でできます)
(相談・検査は鹿屋保健所の保健婦を尋ねて来て下さい。)
- (3) 検査を希望される場合は、感染の機会があってから2～3か月後に受けて下さい。
(これは、2～3か月たたないと体の中に抗体ができないためです。)
- (4) 検査料は、1,600円です。
また、検査の結果は、2～3週間ぐらいかかります。
- (5) 検査日は、毎週火曜日13:00～14:00まで受付ます。



2 エイズとは

- (1) エイズは、エイズウイルス(HIV)とよばれるウイルスの感染によって発症します。
- (2) 私たちは、体の中に病原菌や病原ウイルスが外から侵入すると、これに抵抗する力(免疫)を持っていますが、エイズウイルスは、体の中の免疫機構を破壊し、免疫をなくしてしまいます。
- (3) 体の中に免疫がなくなると、病原体(病気の原因となる細菌やウイルス)が体の中で急激に増殖し、死に至ります。

3 エイズの予防法は

- (1) 気をつけなくてはいけないのは、「性的接触」と「血液による汚染」です。
- (2) 感染した人との性行為によって、同性でも、異性でもうつります。
- (3) 不特定多数の人との性行為は、危険が増します。
- (4) 傷口から感染しますので、性器を傷つけるようなことはつつしみましょう。
- (5) コンドームは避妊だけでなく、相手の体液に触れない工夫の一つです。

健康だより

作権に関わる問題がクロ
ズアップされています。ど
なたでも参加できます。

◇期日 9月3日(木)～4日(金)
◇場所 県歴史資料センター
◇経費 無料
◇問合せ・申込み先 県教育庁文化課(☎09
9281111内線39
14)

9月の日曜在宅医

九月六日 浜畑医院 浜畑俊仁
九月十三日 城西胃腸科外科 笠毛博
九月十五日 阿久根医院 阿久根廣一
九月二十日 黒木内科小児科 黒木辰郎
九月二十三日 長浜医院 小幡悦朗
九月二十七日 大根占医院 山下健治

『心臓病(虚血性心疾患)を予防しよう!!』

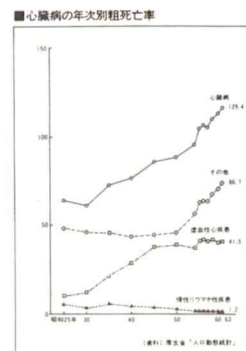
八月十日は健康ハートの日でした。心臓病にもいろいろ種類がありますが、今回は特に虚血性心疾患について考えることにします。虚血性心疾患は、冠状動脈という心臓を養っている血管がなんらかの原因で狭くなった(狭心症)、つまたり(心筋梗塞)して、心臓の筋肉(心筋)への酸素供給量や栄養が減少し、心臓の働きが低下したり停止する疾患です。わが国でも近年食事内容が欧米化してきたことや、社会でのストレスが増えてきた事などから、今後も虚血性心疾患は増えることが予想されます。高血圧、高コレステロール血症、喫煙を心筋梗塞の3大危険因子といいますが、このほか、心電図異常、肥満、糖尿病、痛風、運動不足、呼吸機能低下、ストレ

ス、過度の飲酒、A型性格、遺伝なども危険因子とされています。従って、予防には、これらの危険因子をいかに減らすかが重要となります。食生活の基本は、動脈硬化の進行を予防するような食事をすることが大切です。①脂肪のとりすぎはさけ、植物油や魚類を多くすること。②刺激性の食品や砂糖、菓子類などのとりすぎ、又アルコール飲料も過度とならないようにすること。③食塩はとりすぎないよう一日10g以下を目標とすること。④エネルギーのとりすぎにならないよう、過食をさけると共に適度の運動等により消費エネルギーを高めること。⑤新鮮な野菜特に緑黄色野菜を毎日欠かさずとる事等普段からの食生活に気を配る事が必要です。又、適度の運動はエネルギーの消費量を高めるだけでなく、全身循環機能を亢進し心臓病を予防する上で

人口のうごき

平成4年7月1日現在

住民基本台帳		増		減		前月対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,829	3	5	2	5	1
女	2,020	1	6	1	7	△1
計	3,849	4	11	3	12	0
世帯数	1,448					2



ぜひと必要とされていま
す。医師等に相談の上、過
労にならない程度の運動を
続けて欲しいものです。
健康ハートの日を機会に、
日頃の生活習慣に思いあた
る人は改善を図ると共に年
一回の検診を受け、健康管
理を図りましょう。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

田代町社会福祉協議会

「篤志寄附金」

さきに御逝去されました方の御遺族より、香典返しを廃止され社会福祉協議会へ多額の寄附を賜りました。厚くお礼申し上げます。共に御冥福をお祈りします。

郷原正義様
川又キ義様
川路勇作様
田中ル様

お詫び

先月号のご冥福をお祈りしますの欄で川路武久さんでしたが、「63歳」とありましたが、「53歳」の誤りでしたのでお詫びして訂正いたします。

教育だより

大原中学校

◇一足先の浜でばい
久木野地区親子会は、夏休みの行事として、ラジオ体操、海水浴、花火大会、七夕づくり、読書会をすることをきめた。

さっそく七月二十四日、お母さん手づくりの弁当を



終日波にゆられる子供たち



松かげで食べるおやつ、また格別

持参し、自家用車に分乗して浜田海水浴場に向った。当日は天候に恵まれ、午前中2回午後2回にわたっておだやかな波にゆられ、のんびりとした夏休みの一日を満喫した。



母の心づくしの弁当を開く

◇今は花ざかり

大原中学校は花だんコンクールでたびたびの賞をいただいていたが、本年度も校内緑化総合計画のもとに常澤先生を中心に、生徒・先生・父母が一丸となって学校の美化活動に取り組んでいる。夏休みの水かけは生徒達が話し合い、当番をきめて実行している。また八月一日の出校日には除草作業に精出し、みごとに花だんを浮き上がらせた。



力作に自信のほどを示す男子生徒



サルビアの花に照り映えて



花づくりの準備に忙しい常澤先生

小体連水泳記録会

新記録続出

町内小学校五・六年生の水泳記録会が、八月三日月曜日、田代小プールでおこなわれ、六種目で新記録が樹立されました。



泳力のついた子どもたち

〈新記録〉

六女二百Mメドレーリレー 三分一四秒八五(田代小、落司佳代・白川冬季・樋渡瞳・上八重真紀)、六女五〇Mバタフライ五〇秒九二(田代小、白川冬季)、六女五〇M背泳①四五秒三〇(田代小、白川冬季)②四九秒二二(同、落司佳代)五男二五M背泳二四秒七七

(田代小、折小野寿哉)、五女二五M平泳二五秒一〇(田代小、中村理恵)、五女五〇M背泳一分六秒三九(田代小、中村理恵)

町教職員

パソコン講座開催

七月末、三日間、本町の教職員パソコン講座で、町内の十九名の先生が授業に生かすパソコン研修に取り組みました。



情報化社会——パソコンに取り組む先生方——

高校学生会、今年も

花瀬でキャンプ

各地区別の総会を七月にもった高校学生会が、八月

田代二才の旅 南日本子ども大使

韓国交流の旅 帰国

十六日にふるさと大会を開きました。前之園聡子さん、山下直樹君らの韓国交流の旅報告「ことばは通じなくても」に、参加者一同が聞き入りました。また、VTR「伸びゆく田代町」心にふれあう緑の郷土」を視聴し、郷土田代を強く意識できたようです。



連帯感を培った高校生キャンプ

七月二十八日から八月一日までの四泊五日間、南日本新聞社主催の韓国交流の旅(田代二才の旅)に参加した町内の小・中・高校生一行十二名が全員元気で帰国した。

県内から四十一名が参加し、全体のリーダーとして南大隅高校三年の窪淳君とサブリーダーに鹿児島純心高校一年前之園聡子さんが選ばれた。又田代町の中高校生もほとんどが班のリーダーとして活躍した。期待と不安をもちながら韓国の歴史、文化の勉強にとびつた十二名は初めての海外で四泊五日の研修はこれからの人生の一頁に記録されるものが多いことと思われる。

この体験を今後の学校や地域、そして家庭において役立ててほしいと思います。研修生のみなさんは次のとおりです。

「韓国交流の旅」に参加して

南大隅高校三年 窪 淳



田代小五年	永野 雄三
〃〃〃〃	中原 大輔
〃〃〃〃	白川 冬季
大原小六年	基 愛美
〃〃〃〃	林 明憲
田代中一年	川辺 悦子
〃〃〃〃	上吹越 圭作
〃〃〃〃	坂口 美紀
大原中一年	前之園 聡子
〃〃〃〃	山下 直樹
鹿屋高二年	窪 淳
〃〃〃〃	宮田 浩二
南大隅三年	〃〃〃〃

僕の見た韓国は、すばらしく広く、日本に似ていた。でも、やっぱり外の国という感じだった。どこを見ても、日本の高度成長期を思わせるように、いたるところで道路工事や、建物の建築がせわしく進んでいた。日本と違うのは言葉と習慣。そして何よりもまだまだ自然が多い。都会でも山が見えないところはなかった。だが、やっぱり印象に残ったものは二日目の全州北一国民学校の学生との交流会でした。机をはさんでみんな緊張しながら対面した韓国の学生。自分とはだいぶ年のはなれた学生もいたけれど、身ぶり手ぶりで、懸命に会話をした。中には日本語、英語も話せる子もいて、交流会は楽しいものがあつた。僕なんかは、日本語、英語がごちゃごちゃになり、最後は、自分でも何を言っているのか分からなくなってしまう。自分と同じ高校生と交流がなかったのが少し残念だった。



住みよい田代町に

ふるさと美化活動

青少年の健全育成や、うるおいのある地域づくりを目的として、七月十八日を中心とするふるさと美化活動が町内各地で行われました。当日は、各集落で小組合長さんが中心になって、清掃、空缶拾い、花植えなどを実施していただきました。町も心もきれいになりました。



心の花も大きく育つよ

打って 拾って

はつらつ！親子球技大会

八月二日、親子球技大会が二会場で開催されました。

ソフトボール……町中央運動場 ミニバレーボール……町開発センター 両会場とも、ファイトあふれる珍プレーで、楽しい

女性と人権

● 男女平等を考える

男性と女性とのかかわり合いで、もっとも身近なものは、夫婦でしょう。夫婦の美しい関係をささえているのは、もちろん、相互の深い愛情ですが、それは狭い意味での愛だけでなく、相手の立場に立って物を考え、行動するという、換言すれば、相手の全人格を尊重し、対等の立場で生活するという、広く、深い人間愛（人権尊重の心）ではないでしょうか。

家庭・学校・職場・地域社会あらゆる分野で男女平等が叫ばれて久しいですが、まだ社会生活のいたるところで、女性は一般的に低くみられています。

婦人問題、即ち男女平等は、女性だけの問題ではありません。

豊かで活力のある社会を築くためにも、そして、何よりもすべての人が、人間として等しく人権を尊重される社会を築くために、真の男女平等の実現に、お互いに努力したいものです。

● 女性の役割を考える

女性の生き方が世の中を大きくかえるのです。

偏見を伝えない家庭づくりや明るい職場づくり、地域づくりなどを通して同和問題の解決のために、そして、男女共同参加型社会の実現のために女性が果たすべき役割を考えてみる必要があります。

- 自分と社会とのかかわりを十分に自覚して生活送っているでしょうか。
- 自分だけの尺度でなく、客観的に物事を判断しているでしょうか。
- 他人の気持ちを十分くみとって、心豊かな人間社会をつくっているでしょうか。
- 子どもを親の好みの中だけで育ててはいませんか。

結果

ミニバレーボール	ソフトボール	
山之内	平石	一位
池野	猪鹿倉	二位
平石	大根田	三位



チビッ子選手
がんばれ！

優勝をかけて
女の意地

ふれあいのひとときを過ごすことができました。

去る八月七日に町体育館で、大根占警察署管内防犯組合連合会の主催による第四回防犯少年剣道大会が行われました。本町からは、



気合がほとばしる！

田代に集う少年剣士！

第18回肝属地区子ども会

花瀬地区子ども会

優良子ども会に

中学生が2チーム（田代中、大原中各1）、小学生が7チーム（田代小5、大原小2）が出場しました。結果は、小学校低学年の部で田代小Aが、同じく高学年の部で田代小Aがそれぞれ四位に入賞しました。「青少年の健全育成」という大会目的どおり、礼儀正しさの中にもファイトあふれる好試合の連続でした。

大会・創作活動大会が、八月十七日に東串良町農村環境改善センターで開催されました。本町からは大原地区子ども会の子ども達を中心に育成者も含めて二十七名が参加しました。当日は、台風11号接近のため予定された日程どおりの活動はできませんでしたが、日本の歌、事例発表、風づくりなどに積極的に取り組みました。

この中で、優良子ども会として本町からは花瀬地区子ども会が表彰されました。



代表・上八重由紀さんに伝達

中高生ボランティア養成セミナー、少年団体ジュニアリーダー研修

8月9日、11日

本町からは窪 淳君（高3）、小梅枝修君（中2）が中学生、高校生の代



ペーパーサートづくりに一生懸命!!

第2回 夏休み子ども読書教室

文学あそび・わらべうた・ストーリーテリングを楽しむ。んだ後の感想文には、詩や英語のうたを覚えて友だちや家の人に紹介したいと意欲をみせてくれました。

表として積極的に参加してくれました。県立青少年研修センター（吉田町）で行われた研修で、二人は、リーダーの役割についての講義など大切な内容について学びました。中でも、最も強く深く残ったのは、老人福祉施設でのボランティア活動だったようです。